

令和元年度 盛岡市出資等法人 経営状況調査表

(平成31年4月1日現在)

1 法人の概要

法人名	盛岡中央市場冷蔵株式会社	所 管 課	中央卸売市場業務課
所 在 地	〒 020 - 0841 盛岡市羽場10地割100番地		
電話番号	(019) 638 - 7605	設立年月日	昭和43年7月13日
代 表 者	代表取締役社長 菊池一裕 ☒ 常 勤 ☐ 非常勤 ☐ 市OB ☐ 市現職 ☒ その他		
設 立 目 的	盛岡市中央卸売市場水産物部における卸売業者、仲卸業者及び売買参加者の出資により、開設区域内での水産物の安定供給を図るため、冷凍・塩蔵魚介類等の冷蔵保管及び製氷販売を目的として設立された。		
主 要 事 業	① 冷凍及び冷蔵保管事業 ② 製氷及びその販売事業 ③ 前各号に附帯する一切の事業 ④		

2 情報公開の状況

法人のホームページの有無
☐ ある (アドレス http://)
☐ 作成中・作成計画あり (公開予定時期 令和 年 月) ☒ 作成予定なし
法人ホームページでの情報の提供内容(作成中の法人においては提供予定内容)
☐ 事業内容 ☐ 財務状況 ☐ 役員氏名 ☐ その他()
ホームページ以外での情報提供の方法

3 職員構成

(単位:人)

		常 勤			非常勤	合 計	
			うち市OB	うち市派遣			
役員	取締役	2	0	0	3	5	
	監査役	0	0	0	1	1	
	計	2	0	0	4	6	
職員	管理職	正職員	0	0	0	0	
		臨時職員	0	—			—
	一般職	正職員	9	0	0	1	10
		臨時職員	0	—	—		
	計	正職員	9	0	0	1	10
		臨時職員	0	—	—		
前年度と比較して職員数の増減		増 0	減 1	常勤職員の平均年齢		51 歳	
常勤職員の給与体系							
☒ 法人独自の給与体系 ☐ 市の給与体系を準用 ☐ その他()							

4 財政状況等

資本金 (基本財産)	60,000 千円	本市出資等額	30,000 千円	本市出資等割合	50.0 %
主な出資等者					
① 盛岡市			(出資等割合	50 %)	
② 盛岡水産株式会社			(出資等割合	48.3 %)	
③ 盛岡水産物商業協同組合			(出資等割合	1.6 %)	
④			(出資等割合	%)	
⑤			(出資等割合	%)	
令和元年度における当市の財的関与の状況	補助金	0 千円		(収入全体の	%)
	負担金・交付金	0 千円		(収入全体の	%)
	委託料	0 千円		(収入全体の	%)
	指定管理料	0 千円		(収入全体の	%)
	貸付金	0 千円		(収入全体の	%)
補助金内訳					
①		(令和元年度予算額		千円)	
②		(令和元年度予算額		千円)	
③		(令和元年度予算額		千円)	
負担金・交付金内訳					
①		(令和元年度予算額		千円)	
②		(令和元年度予算額		千円)	
委託料内訳					
①		(令和元年度予算額		千円)	
②		(令和元年度予算額		千円)	
指定管理料内訳					
①		(令和元年度予算額		千円)	
②		(令和元年度予算額		千円)	
③		(令和元年度予算額		千円)	
貸付目的		(貸付金がある場合記入)	利用料金対象施設		(利用料金制を採用している施設がある場合記入)
			利用料金収入(令和元年度予算額)		千円
			法人の収入全体の		%

5 指定管理者となっている公の施設(現在、公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名称	
-------	--

6 法人の経営内容の詳細

(1) 取組目標

指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
①冷蔵庫収入	千円	計画	86,320 千円	84,040 千円	93,261 千円
		実績	81,923 千円	79,726 千円	80,013 千円
②凍氷収入	千円	計画	10,938 千円	10,476 千円	6,999 千円
		実績	10,975 千円	9,799 千円	9,708 千円
③経常損益	千円	計画	5,226 千円	3,883 千円	5,619 千円
		実績	1,907 千円	▲1,161 千円	▲5,541 千円
④		計画			
		実績			

※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛込まれている目標等を記載してください。

2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。

3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

(2) 経営状況

(単位:千円, %, 人)

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
収支の状況	売上高(A)	92,899	89,526	89,722
	売上総利益	91,507	88,320	88,679
	販売費・一般管理費(B)	94,805	94,717	98,681
	営業利益	▲ 3,298	▲ 6,397	▲ 10,001
	経常利益(C)	1,907	▲ 1,161	▲ 5,541
	税引前当期純利益	2,045	▲ 1,119	▲ 5,541
	当期純利益	1,860	▲ 1,304	▲ 5,726
財産の状況	資産(D)	117,480	102,197	82,961
	うち流動資産(E)	26,576	24,736	18,615
	うち固定資産	90,904	77,461	64,346
	負債	59,277	45,299	31,790
	うち流動負債(F)	21,469	20,664	20,058
	うち短期借入金(G)	11,520	11,520	11,520
	うち有利子負債(H)	11,520	11,520	11,520
	うち固定負債	37,808	24,635	11,732
	うち長期借入金(I)	32,515	20,995	9,475
	うち有利子負債(J)	32,515	20,995	9,475
	純資産	58,203	56,899	51,172
	うち資本金(K)	60,000	60,000	60,000
	うち剰余金(L)	▲ 1,797	▲ 3,101	▲ 8,828

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
組織の状況	常勤役員数(M)	2	2	2
	うち本市OB			
	うち本市派遣職員			
	職員総数(N)	11	11	11
	うち常勤職員数	10	10	10
	うち本市OB			
	うち本市派遣職員			
	うち管理職員数			
	常勤役員比率(M/総役員数)	28.5	28.5	28.5
	管理職員比率	0.0	0.0	0.0
経営指標	職員新規採用数	1		
	うち常勤職員数	1		
	売上高経常利益率(C/A)	2.0	▲ 1.2	▲ 6.1
	販売費・一般管理費比率(B/A)	102.0	105.7	109.9
	流動比率(E/F)	123.7	119.7	92.8
	借入金依存度((G+I)/D)	37.4	31.8	25.3
	自己資本比率((K+L)/D)	49.5	55.6	61.6
	有利子負債比率((H+J)/(M+N))	75.6	57.1	41.0
本市の財政的関与等の状況	職員一人当たり売上高(A/(M+N))	7,146	6,886	6,901
	補助金額	6,253	6,133	5,003
	① 施設建設費償還補助金	6,253	6,133	5,003
	②			
	③			
	負担金・交付金額			
	①			
	②			
	委託金額			
	①			
	②			
	上記のうち再委託額			
	上記業務の委託契約方法			
	指定管理料			
	①			
	②			
	③			
	貸付金額			
	損失補償額			
	債務保証額			

平成30年度決算の概要

冷蔵庫収入は、年間取扱量が前年比5%強減少したものの、平成30年8月より労働環境改善及び保管コスト増加を理由に、場内業者向け保管料を値上げし、経営の安定を目指した結果、前年度比100.4%となり前年度より287千円の微増となった。

凍氷収入は、9月以降の天候不順や場内業者の取り扱い分の減少があったが、場外客分の増加があったため、前年度比99.1%となり前年度より91千円の微減となった。

一般管理費は、冷凍機や周辺機器の相次ぐ故障等による機械保守料の増大、電力料金の増加により、前年比104.2%で3,964千円の増加となり、経営状況は厳しいものになった。

また、借入金返済額は、12,025千円で、盛岡市から5,003千円の補助金収入があった。

7 所管課による財務状況についての点検評価結果

B	A:良好, B:概ね良好, C:改善を要する, D:大いに改善を要する
(コメント) 今後も冷蔵倉庫事業と凍氷販売事業の更なる拡大に努め、収入の確保を図る。また、必要に応じて連絡調整を密にし、収入確保やコスト削減について協議・検討を行い、経営の安定に向け継続して支援していく。	

※参考(別紙フローチャートによるチェック)

番号	質問	チェック欄	
		はい	いいえ
1	平成29年度決算において黒字である。		○
2	平成30年度決算において黒字である。		○
3	累積欠損金がある。	○	
4	平成30年度決算において減価償却前黒字である。	○	
5	事業計画どおりの償却前赤字である。		○
6	概ね3年以内に単年度黒字可能である。	○	
7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未満である。	○	
8	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%～100%である。		○
9	累積欠損金があるが、対自己資本比率は100%超である。		○